

作成 2021年3月23日
摂津市議会議員 松本暁彦

令和3年第1回定例会代表質問 ～本会議3日目 2021年3月9日～
議事録（抜粋）

（自民党・市民の会の光好議員が会派を代表して質問。内容は会派で検討したものである。）

2-5 河川防災ステーションの取り組みについて

質問の背景：河川防災ステーションは、淀川氾濫に備えるべく森山市長が鳥飼地域の災害対応力の強化の必要性を認識され、2020年9月1日、衆議院議員とかしきなおみの同伴のもと国に国土強靱化に関する要望を行い、その後、国と市との調整が進み具体化したものである。議会においては2020年12月議会において議論が交わされ、自民党・市民の会として、河川防災ステーションの誘致・実現に取り組んでいるところである。

質疑概要：河川防災ステーション実現への市長の意気込みを確認するとともに、今後の国との調整、国が行う予定である令和3年度の整備計画策定の状況や、市が行う上部施設に関する検討状況などについて議論を行った。

○光好議員

2-5 河川防災ステーションの取り組みについて、本市は、淀川氾濫による水害リスクが高く、河川防災ステーションの整備が検討されていますが、改めて、市長の想いをお聞かせ下さい。

（略※）

○森山一正市長

河川防災ステーションについてのご質問にお答えいたします。

ご案内の通り、河川防災ステーションは国の直轄事業でございます。当初、河川事務所のサービスステーションがあり、避難経路に直結する仁和寺大橋付近といえますか、鳥飼下の五久付近が候補地の一つに上がっておりました。ただ、先日来、色々お話ありましたが、あの鳥飼小学校付近を計画地域に入れるとするならば、整備計画が出来たといいたしましても、その実施との時間的なギャップは否めません。到底間に合わないといえますか、ギャップは否めないわけであります。

以前にもご指摘ありましたが、分散ステーションも協議的には視野に入れながら、淀川に面した鳥飼地区で新たに相応しい場所を模索・検討しているところでございま

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

す。場所等々につきましては相手さんもあり、ここでは公表できませんが、報告できる段階になり次第、議会の皆さんはじめ、地元の皆々さまにも、またグランドデザイン懇談会においてもお知らせをさせて頂きたいと思っております。

毎年、日本各地で発生している集中豪雨により河川の氾濫が甚大な被害をもたらしており、決して他人事ではありません。特に淀川や安威川に囲まれた鳥飼地域におきましては、淀川氾濫による浸水想定は、非常にリスクが高く、浸水対策が喫緊の課題でございます。

折しも、さきほどいいましたように国による淀川流域で河川防災ステーションの検討が進められております。鳥飼地域で整備が可能とすれば、地域の安全性に資するものと非常に期待を致しております。今後は国としっかり連携し、河川防災ステーション建設の実現に取り組んで参りたいと思っております。

(略※)

○光好議員

河川防災ステーションの取り組みについてですが、整備に対する市長の想いを理解しました。

河川防災ステーション事業は、国の直轄事業であることから、令和3年度の整備計画承認を確実なものにする必要がありますが、今後の国との連携と進め方について、お聞かせ下さい。

(略※)

○高尾建設部長

河川防災ステーションの今後の国との連携と進め方についてのご質問にお答えいたします。

国においては、現在、本事業を鳥飼地域の「流域治水プロジェクト」として位置づけ、「水災害リスクを踏まえた防災まちづくり」の「水まちモデル都市」に本市を選定され、令和2年度内の取りまとめに向けて取り組まれております。

鳥飼地域においては、氾濫による浸水リスクが高く、物流・人流の要所にもあたることから、浸水被害を少しでも減少させるための対策を1日も早く講じる必要があるということが、国と市との共通認識であり、国と覚書を締結して、災害に強いまちづくりの検討を共同で進めているところでございます。

現在、国においては、淀川流域全体の防災拠点として、同ステーションが最大限機能を発揮できる整備内容を検討しており、合わせて、本市は、地域のコミュニティや賑わいに資する必要な機能について検討深めるとともに、災害時の避難場所として適切な規模等を検討しているところでございます。

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

今後、淀川水系の防災拠点として、同ステーションを整備すべき箇所を早急に特定いたしますとともに、上部利用施設も含めた基本計画を取りまとめて参ります。

令和3年度の早い段階には、同ステーションの整備計画の策定に向けた国との協議調整を進め、着工後の確実な予算獲得がなされるよう、国へ働きかけますとともに、令和3年度の整備計画承認を目指し、国とともに推進して参ります。

(略※)

○光好議員

河川防災ステーションの取り組みについてですが、国との連携と進め方について、理解しました。しっかりと取り組むよう、要望致します。

ご認識通り、河川防災ステーションは、災害に強いまちづくりを推進し、淀川流域の防災拠点となる一方で、市民が集う憩いの場となり、賑わいづくりや魅力ある鳥飼まちづくりの核になるものです。

平時は地域住民のレクリエーションの場、河川を中心とした文化活動の場、水防活動の訓練の場として利用されるべきと考えますが、最後に、上部利用の構想についてお聞かせ下さい。

(略※)

○大橋市長公室長

河川防災ステーションの上部施設についてのご質問にお答えいたします。

市としての河川防災ステーションの上部施設の考え方につきましては、災害時には、防災対策の観点から地域に不足する避難場所として、特に分散避難も困難となるような高齢者や障がい者といった、災害時要援護者と呼ばれる方々を中心とした避難施設を想定しており、また平常時ですが、こちらが施設としての利用の大半を占めることとなりますので、鳥飼地区におけるコミュニティや賑わいといった地域課題、また、老朽化する公共施設の再配置の観点も踏まえ、地域の皆さんにとって有益な施設となるよう検討を進めているところでございます。

今後、国とも協議・調整の上、案がまとまった段階で、議会議員の皆様へも説明を行って参りたいと考えております。

(音声データ等より作成)

※当該質問に関係のない他の質問項目の部分は省略しています。

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

<代表質問・項目一覧>

- 1 市民が元気に活動するまちづくりについて
 - (1) 地域コミュニティの活性化について
 - (2) シティプロモーションの推進について
- 2 みんなが安全に快適に暮らせるまちづくりについて
 - (1) 鳥飼まちづくりについて
 - (2) 都市基盤整備について
 - (3) 道路ネットワークの向上について
 - (4) 市民を支える上下水道について
 - (5) 河川防災ステーションの取り組みについて**
 - (6) 防災・防犯への取り組みについて
 - (7) 消防・救急救助施策について
- 3 みどりうるおう環境を大切にすまちづくりについて
 - (1) 環境問題について
 - (2) 広域連携などのゴミ処理について
- 4 暮らしにやさしく笑顔があふれるまちづくりについて
 - (1) 新型コロナウイルス感染症対策について
 - (2) 健康寿命延伸の取り組みについて
 - (3) 地域福祉施策について
 - (4) 子育て支援について
- 5 誰もが学び、成長できるまちづくりについて
 - (1) 児童・生徒の学力向上について
 - (2) 中学校給食の取り組みについて
 - (3) 教育環境の改善について
 - (4) スポーツ環境の充実について
- 6 活力ある産業のまちづくりについて
 - (1) ビジネスサポートセンターについて
 - (2) 中小企業支援施策について
- 7 計画を実現する行政経営について
 - (1) 持続可能な行政経営について
 - (2) 人事施策について
 - (3) 横断的な政策課題への対応について

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]